

第 19 回医療的ケア研修セミナーのお知らせ

日本小児神経学会は、社会活動・広報委員会の担当で「医療的ケア講師研修セミナー」を2004年から毎年開催し、その内容をもとに「医療的ケア研修テキスト」を発行してきました。本会は、2009年度より「医療的ケア研修セミナー」と改称され、より多くの方を対象としたセミナーとなっております。第19回は、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、Web開催といたします。

期 日 2021年11月23日（火・祝） 9：30～17：20 Web開催

対 象 重症神経疾患児・重症心身障害児（者）等の、医療・療育・教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・歯科医師・看護師・保健師・理学・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など

目 的 家庭・学校・通園通所施設などにおいて、在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が拡がりを持ちながら適切に行われるよう、専門職が知っておくべき方法・技術、リスクおよび制度論などの諸問題について研修し、支援者が知識を共有できることを目的とする。

定 員 400名（申し込み先着順）

受講料 医師7,000円、非医師3,000円、医療系学生2,000円（事前お振込み）

主 催 一般社団法人日本小児神経学会

共 催 日本重症心身障害学会、一般社団法人日本小児看護学会

後 援 静岡県医師会、浜松市医師会、浜松政令市医師会、静岡県小児科医会、浜松市小児科医会、静岡県歯科医師会、静岡県看護協会、静岡県訪問看護ステーション協議会（順不同）

申込受付 終了しました

専門医研修単位 小児神経専門医研修単位5単位が認められます

問合せ先 一般社団法人日本小児神経学会事務局（東京都新宿区余丁町8-16 ネオメディアトピア4F）
E-mail : seminar@childneuro.jp ; Fax : 03-3351-4067
第19回医療的ケア研修セミナー会長 遠藤雄策（浜松市発達医療総合福祉センター）

プログラム

全体会 I

イザという時のために～医療的ケア児を支える防災支援

- ①浜松市と小児神経学会の取り組み 遠藤雄策（浜松市発達医療総合福祉センター）
- ②在宅療養支援診療所の立場から 福本和彦（磐田在宅医療クリニック）
- ③災害時小児周産期リエゾンの立場から 杉浦 弘（聖隷浜松病院新生児科）
- ④Covid-19 クラスタ対応の経験から 塩田 勉（静岡総合済生会病院）

ブレイクアウト分科会

イザという時のために～医療的ケア児を支える日常支援

1. <栄 養>

- ①小児・新生児消化器疾患と医療的ケア 川原央好（ならまちリハビリテーション病院）
- ②小児・新生児消化器疾患の経管栄養・栄養管理 渡邊誠司（伊豆医療福祉センター）
- ③小児・新生児消化器疾患の摂食・嚥下 浅野一恵（つばさ静岡）
- ④シンポジウム・質疑応答・ディスカッション

2. <呼 吸>

- ①小児・新生児呼吸器疾患と内科的治療 長谷川久弥（東京女子医科大学東医療センター）
- ②小児・新生児呼吸器疾患と外科的治療 福本弘二（静岡県立こども病院）
- ③小児・新生児呼吸器疾患と在宅医療日常生活支援 緒方健一（おがた小児科）
- ④シンポジウム・質疑応答・ディスカッション

3. <福祉・教育>

- ①医療的ケア児を支える～医療型短期 内山真理子（浜松市発達医療総合福祉センター）
- ②医療的ケア児を支える～学校看護師 植田陽子（前豊中市教育委員会）
- ③医療的ケア児を支える～放課後等デイ・生活介護 池谷直士（NPO 法人ハーモニー）
- ④シンポジウム・質疑応答・ディスカッション

4. <看護・リハ>

- ①医療的ケア児を支える～総合病院看護師の立場から 高 真喜（聖隷浜松病院）
- ②医療的ケア児を支える～訪問看護師の立場から 原との子（訪問看護ステーションあおむし）
- ③医療的ケア児を支える～訪問リハビリの立場から 山口貴博（NPO 法人ぴゅあ）
- ④シンポジウム・質疑応答・ディスカッション

全体会Ⅱ

- ①全国の学校における医療的ケア実施状況と課題 三浦清邦（愛知県医療療育総合センター）
- ②日本における医療的ケアの今後の方向性 宮本雄策（聖マリアンナ医科大学）